

敬老会発表の小学生の作文

「いつまでも長生きして」

四年一組 栗田晴生

今日は、敬老の日です。ぼくは、ここにいらつしやるおじいさん、おばあさんに、いつまでも長生きしてほしいと思います。それは、ぼくのおじいちゃんのことを思うからです。

ぼくのおじいちゃんは、大竹に住んでいます。ぼくが泊まりに行くと、「今日は何をして遊ぶ。」と聞いてくれます。ぼくは、よく、「釣りがしたい。」

と答えます。そうすると釣りに連れていってくれます。ぼくが釣りを始めるように、おじいちゃんは、釣りざお・えさ・バケツなどを、用意してくれます。そして釣り方を教えてくれます。

おじいちゃんは、釣りだけでなく、無線機やパソコンもくわしいです。スポーツでは、テニスもします。

そして、町内会の会議にも出て、地域の人のために働いています。

そんな、おじいちゃんが大好きなので、もつとたくさん遊びたいし、知らないことをたくさん教えてほしいです。だから、ぼくは、ここにいますみなさんにも長生きしてほしいです。いつまでも、元気でいてください。

「優しい地域の方々」

六年一組 山村春歌

私は、学校に行く中、たまに家の前に立つてくれている方がいます。その方はいつも、

「おはよう。いつてらつしやい。」

と言って下さいます。私も、

「おはようございます。いつてきます。」

と大きな声で答えます。あいさつをする、元気が出てとてもいい気分になります。しかし、最近はいらつしやらないことが多いので、とても残念です。私はそのおじいちゃんに会わない時、あまり元気が出ないので、会った時は、大きな声ではきはきとあいさつしたいと思いました。

また、私の家の近くにはいつも私を気にかけて下さる、おじいちゃんがあります。その方とはよく会うのですが、私は恥ずかしがりやなのであまりそのおじいちゃんと会話をしません。私がおじいちゃんにあいさつをしたらおじいちゃん、

「勉強がんばってる？がんばって！」
「あ、はい……。はい。」

と、元気のいい返事ばかりしてしまいます。そのおじいちゃんとは、たくさん会う機会があるので、今度おじいちゃんに会った時はきちんと質問に大きな声で答え、会話をなるべくしたいと思っています。

また、今挙げた方だけでなく、この河

内地区には、七十才をこえた、たくさんのおじいちゃん、おばあちゃんがおられます。体が不自由になられている方や、病気で休まれている方もおられます。

七十才をこえられた方の中には、戦争を体験したり、戦後の貧しい時代を生きた人達です。戦後の七十年の河内の歴史が書かれた本を見て、家族や河内のために、がんばってこられた、おじいちゃんやおばあちゃんに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

どうかいつまでも、長生きして下さい。



2年生の発表 大きな声の呼びかけ、かっこの演奏、手話を用いた合唱に、大きな拍手がおきました。保護者の方もたくさん見られていました。

終わりに

今年の敬老会の第二部、アトラクションでは参加型を目指し、敬老者の方にたくさん出演していただきました。大正琴、舞踊、カラオケと活躍してもらい、敬老者のみならず、われわれスタッフも皆さんの演芸を楽しく観させてもらいました。

シベリヤ抑留のわが子の復員を待ち焦がれる母の物語、「岸壁の母」は思わず涙を流してしまいました。軽快な大正琴の調べやカラオケを聞きながら、一緒に歌ったり、手拍子をされたり、観る方も出演者と一緒に楽しめたと思います。

終わりの挨拶で「みなさん、楽しめましたか？」と問いかけると間髪をいれず、「楽しかったですよ」との声を頂き、今日の敬老会の準備をしていただいたスタッフの皆さんもやりがいを感じていただけたことでしょう。また来年も元気なお顔を見せてくださいとお伝えし、終わりとさせていただきます。



発表を終えて、笑顔でお茶菓子を手渡す小学生